

# 子どもたちの“今”を知る 2016

5月29日 (日)

西宮市民会館

第1部公開講座 9:30~11:30 (受付9:10~)

第2部公開講座 12:30~14:30

第1部・2部はどちらかの講座をお選びください。

## 第1部 9:30~11:30

### ① 子どもの貧困を考える - 子どもの視点に立った援助に必要なもの

講師：庄保共子さん (NPO 法人こどもの里理事長、わが町にしなり子育てネット代表)

### ② 多様な性を生きる - LGBT を中心に知る・気づく・考える - 1

講師：ステファン・ラルさん (NPO 法人いくの学園、HIV と人権・情報センター等相談員)

①

参加者の皆さんと共に、こどもの里の取り組みを通じて、子どもの貧困の現実を具体的に知り、子どもに及ぼす影響を“今”そして“将来”にわたってという時間軸で子どもの視点から考えていきます。

本講座で参加者の皆さんがお住まいの地域でできることを考えるヒントを得て、アクションにつなぐことをめざします。

②

まず抑圧について考え、セクシュアリティの多様性、さらに性的マイノリティを生きるということがどういうことかについて考えを深めていきます。まずは、知ることからはじめ、知らないことによる不安を安心に変える講座です。※②のみの参加も可能です。

## 第2部 12:30~14:30

### ③ 多様な性を生きる - LGBT を中心に知る・気づく・考える - 2

講師：ステファン・ラルさん (NPO 法人いくの学園、HIV と人権・情報センター等相談員)

### ④ ネットに奪われる子どもたち - 小学5年生から高校3年生の子どもと関わるおとなとして -

講師：古野陽一さん (NPO 法人子どもとメディア専務理事、NPO 法人 CAP センター・JAPAN 理事)

③

午前中の簡単な振り返りをしたあと、支援者に何が求められるのか、社会の状況や制度の動き等を学びます。さらに社会にある思い込みや決めつけという神話を考えるグループワークでは、神話に対して、事実に基づいて言語化し、どう対話していくのかを考えていきます。

※③のみの参加も可能です。もちろん、②・③と連続してご受講いただくこともできます。

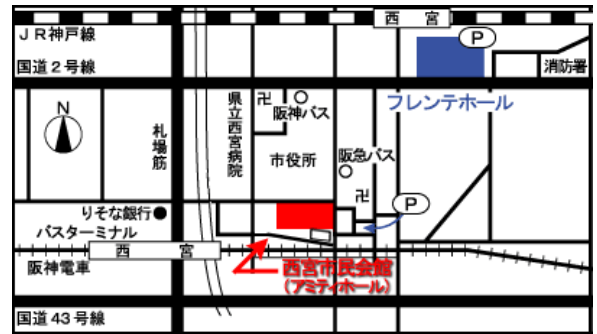
④

ネット社会の中で子どもが置かれている現状を知り、対応策を考えていきます。特に小学5年生~高校3年生までの子どもの発達段階を中心に、考えていきます。これからスマホを持たそうと考えている方、すでに子どもがスマホを持っているという方。レクチャーとトークセッションであなたがどう対応すればいいのかを見つけませんか。

## 会場案内

西宮市民会館（アミティホール）5F  
〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町 10 - 11

- ・阪神西宮駅「市役所口」改札北へすぐ  
JR西宮駅から西徒歩約10分



## お申込み（4月1日以降受付）

FAXでお申し込みの場合は下記の申込書にご記入の上送信、メールでのお申し込みの場合は下記の項目をすべて入力しお申し込みください。お申し込みは個人でお願いします。CAPセンター・JAPAN から参加確定の連絡（FAX またはメールでお送りします）後、1週間以内に参加費をお振り込みください（複数人数分お振り込みいただいて結構です）。定員に余裕がある場合は、当日ご参加いただくことができますが、お席の確保のためお早目にお申込みください。

- \* 参加費は1コマ/2000円です。
- \* 定員に達した時点で、申し込みを締め切ります。
- \* 受講費を振り込まれた後で5日前までにキャンセルされた場合、手数料（1,000円）をいただいた上で返金させていただきます。

TEL:0798-57-4121 / FAX:0798-57-4122 / E-mail:info@cap-j.net

.....きりとり.....

## 【5月29日開催】子どもたちの“今”を知る2016 参加申込書

お名前： \_\_\_\_\_

所属/職種： \_\_\_\_\_

緊急連絡等に使用しますので以下必ずご記入ください。

連絡先：TEL \_\_\_\_\_ FAX/E-mail \_\_\_\_\_

**参加内訳** 参加される講座に○を付けてください。

	参加	内容	参加費
第1部 9:30~11:30	<input type="checkbox"/>	①子どもの貧困を考える	2,000円
	<input type="checkbox"/>	②多様な性を生きる1	
第2部 12:30~14:30	<input type="checkbox"/>	③多様な性を生きる2	2,000円
	<input type="checkbox"/>	④ネットに奪われる子どもたち	

※②と③は一方のみや連続でも受講できます。

NPO 法人

## CAPセンター・JAPAN

暴力防止に関する社会教育の推進・啓発活動、CAP（キャップ・子どもへの暴力防止）プログラム実践者の養成などを行っています。CAPプログラムの普及を通して、子ども自身が人権意識をはぐくみ、また家庭や学校、地域の連携を促進することで、子どもへのあらゆる暴力を許さない社会、子どもの人権が尊重される社会の実現をめざしています。

〒662-0825 兵庫県西宮市門戸荘 17-34  
スマイルヴィラ 105  
HP : <http://cap-j.net/>